潤水都市 さがみはら

令和８年１０月２８日
相模原市発表資料

平常時と災害時２つの役割 福祉×防災×車×スヌーズレン※1
『スヌーズレンビークル出発式』を開催します

障がいのある子どもたちなどの「行ける場所が少ない」「災害時に避難所の音や人の多さに不安を感じる」という課題を解決するため、「NPO法人ぴあっと」と本市のトライアル発注認定制度※2の認定を受けた企業がプロジェクトを立ち上げ、あらゆる場所へ安心できる空間を届ける車両『**スヌーズレンビークル**』を制作しました。出発式及び本村賢太郎 相模原市長への報告・試乗体験を開催しますのでお知らせします。

※1スヌーズレン：自分の好きなものを見つけて、自分のペースで、感じるままに心地よい時間を過ごすこと
※2トライアル発注認定制度：優れた新製品の生産及び新役務の提供により新たな事業分野の開拓を図る市内中小企業者を認定し、その新製品等の販路開拓等を支援する制度

１　日時

令和８年１１月１８日（水）午前１０時００分から１０時２０分頃まで

２　場所

相模原市役所本庁舎本館２階　特別応接室

３　出席者

【相模原市】　相模原市長　本村　賢太郎

【スヌーズレンビークルプロジェクト】

NPO法人ぴあっと　代表理事　五十嵐（いからし）　舞子（まいこ）

一般社団法人CASE（ケース）（フィルノットスヌーズレン）　代表理事　土井（どい）　真路（しんじ）

有限会社プロタックアドバンス　代表取締役社長　髙橋（たかはし）　永至（えいじ）　ほか

４　取材について

取材を希望される場合は、開始時刻までに直接会場にお越しください。



5　今後について

令和８年１２月から１年間の実証実験を行い、将来的にはスヌーズレンの専門家と連携した全国巡回・地域ネットワークの構築等、取組を全国へ広げ「福祉×防災」の新しい社会モデルの実現を目指します。

令和８年１２月１３日（日）午前１０時から、相模原市産業会館にて市民向けのスヌーズレンビークル完成お披露目＆体験会（主催：スヌーズレンビークルプロジェクト、共催：（公財）相模原市産業振興財団、後援：相模原市）を予定しています。

補足：**スヌーズレンビークルについて**

「NPO法人ぴあっと」、「フィルノットスヌーズレン」、本市のトライアル発注認定制度の認定を受けた企業である「有限会社プロタックアドバンス」の３者間であらゆる場所へ安心できる空間を届ける車両を制作する**『スヌーズレンビークルプロジェクト』**が令和８年２月に本市で立ち上がりました。

NPO 法人ぴあっと【企画・当事者家族】

発達障がいや知的障がいのお子さんや家族支援を行っている NPO 団体。

フィルノットスヌーズレン【スヌーズレン空間製作】

Philknot Snoezelen

持ち運びや設置が簡単なスヌーズレングッズの企画・製造を行っている。

有限会社プロタックアドバンス【車両製作】

PRODUCT DESIGN STUDIO PROTAC ADvance

カスタムカーなどの製作を行っている工業デザイン会社。

※詳細は別添資料をご確認ください。

問合せ先
産業支援・雇用対策課
電話　042-707-7154

スヌーズレンビークル

わくわくと安心を届ける車。

福祉 × 防災 × 車 × スヌーズレン

必要な場所へ、安心空間を届ける
プロジェクト



障害のある子どもたちの『行ける場所が少ない』という課題から誕生。
安心できる空間を届ける 移動式スヌーズレン車両が相模原で完成へ。

スヌーズレンビークルとは

平常時と災害時、２つの役割を持った
車内にスヌーズレン空間・キャンピングカー設備
を備えた車両です

平常時





光や音、触覚などの感覚刺激を通して、心地よさや安心感を感じられる空間を、学校や福祉施設、地域のイベントなど、様々な場所へ届けます。カームダウンスペースの役割も果たします。

災害時



災害時には、避難所の音や人の多さなどに強い不安を感じる方が、一時的に安心して過ごせる空間としての活用を目指します。

スヌーズレンとは

スヌーズレンは、1970 年代にオランダで、重い障害のある人たちにも、心地よさや楽しさを感じながら過ごせる時間を届けたいという思いから生まれました。
きらきら光る光を眺めたり、ゆらゆら揺れる泡を見つめたり、心地よい音や感触を楽しんだり。そんな五感で感じるひとときを大切にします。
自分の好きなものを見つけて、自分のペースで、感じるままに心地よい時間を過ごすこと。それがスヌーズレンです。







私がこのプロジェクトに取組む理由

NPO 法人ぴあっと 代表理事 五十嵐舞子

〇最重度の知的障害と自閉症のある、小学 5 年生の息子がいます
〇興味の幅が極端に狭く、楽しめることも、安心して行ける場所も少ない
〇環境の変化に極端に弱く、大きな声を出してしまったり、待つことが難しいため、
　災害時の避難所利用はあきらめている

これらは私たち家族だけでなく、同じような子どもを育てる家族に共通する課題です。

安心できる場所へ行くことが難しいなら、安心できる場所をこちらから届けたい。
そんな想いから、このプロジェクトを始めました。

制作過程

2026 年

1 月 出会い
2 月 プロジェクト始動
3 月 ベース車両調達
4 月 内装施工開始
7 月 外装デザイン
9 月 ナンバー取得 外装ラッピング
10 月 スヌーズレン空間施工
11 月 完成予定









※スヌーズレン空間イメージ

車両と設備

【スヌーズレンビークル 1 号車】
車種：ハイエース　ナローハイルーフ
走行時乗車人数：3 名
【スヌーズレン空間】
利用人数：4 名程度
設備：冷暖房、照明、電源、水場

3 者での共同プロジェクト

異業種の専門性と当事者のニーズを掛け合わせることで、これまでにない新しい支援のかたちを実現



NPO 法人ぴあっと【企画・当事者家族】

発達障がいや知的障がいのお子さんや家族支援を行っている NPO 団体。

有限会社プロタックアドバンス【車両製作】

カスタムカーなどの製作を行っている工業デザイン会社。

フィルノットスヌーズレン【スヌーズレン空間製作】

持ち運びや設置が簡単なスヌーズレングッズの企画・製造を行っている。

今後の展望

完成はゴールではなく、新しい社会インフラの始まり



1 年間の実証期間で取組むこと

- 地域の福祉施設等への訪問
- 地域イベントでの活用
- 利用者や支援者の声をもとに改善
- 本格運用に向けた検証
- 自治体や関係機関との連携
- 地域ネットワークの構築

製作過程や最新情報は公式 Instagram をご覧ください。

出発式・完成お披露目＆体験会の開催

11/18（水）
スヌーズレンビークル出発式（記者発表会）
場所：相模原市役所本庁舎本館 2 階 特別応接室
時間：10:00 ～ 10:20

12/13（日）
スヌーズレンビークル完成お披露目＆体験会
場所：相模原市立産業会館 1F 多目的ホール
時間：10:00 ～ 15:00

相模原から発信する意義

津久井やまゆり園事件から 10 年。
障害のある人もない人も、共に地域で暮らせる社会を目指して。

「誰もが安心できる環境を届ける取組み」を相模原から全国へ広げていきたい。